

1 単元名 「私たちのフラワー大作戦！」

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性等
<p>①課題解決のために必要な情報を、自分なりの方法で調べている。</p> <p>②物を作製したり販売したりすることは簡単ではないことを体験的に理解するとともに、その上で自分たちの思いを実現できたのは探究的に学習してきた成果であることに気付いている。</p>	<p>①課題解決のために集めた複数の情報を、比較したり関連付けたりしながら分析し、実際に取り組む内容を具体的に考えている。</p> <p>②伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、ポスター・プレゼンテーション・動画等を通して表現している。</p>	<p>①得た知識や技能を生かしながら、友達と協働して押し花やドライフラワー作りの問題を改善しようとしている。</p> <p>②伝える相手や目的を意識して、よりよい発表にするために粘り強く取り組もうとしている。</p> <p>③探究の過程を振り返り、総合の学びのよさを再認識し、今後を生かそうとしている。</p>

3 教材のとらえ

本学級で決めた「テーマ成立の条件」は、①長い時間かけて探究できること、②これまでの教科の学びを生かせること、③オリジナルの学びになること、の3つである。さらに、そこに「楽しそうなテーマにしたい」「人と関わりたい」という思いも付け加えられた。そうした条件に合う活動として話し合いで絞られたのが「模擬裁判」と「押し花・ドライフラワー作り」の二つであった。教科発展型の「模擬裁判」と自由な発想から提案された「押し花・ドライフラワー作り」どちらも探究する上で魅力的な材であったが、「人との関わりを重視したい」という児童の思いから、最終的に「押し花・ドライフラワー作り」に決定した。

この材の魅力は、押し花の経験はあってもドライフラワー作りをしたことがある児童がいないため、ゴールに向けて全員が0から学びを作り上げられることにある。また、作製・販売・発表などの様々な場面でたくさんの人々と関わることもできる。内向的な児童も少なからずいる中で、他者と関わる経験を積めることは社会を生きていく上で必要となるコミュニケーション能力を育むことにもつながり、大変有益であるといえる。また、販売で得た利益を何らかの形で還元することで、社会に役立つことの尊さを体験的に理解できる道徳的価値もある。分からないことにチャレンジすることは教師にとっても不安があるが、この「押し花・ドライフラワー作り」を通して本学級の児童とともに探究しながら学びを作り上げる喜びを味わいたい。



4 本時の指導案

本時の目標 「自分たちの力で、総合で目指すゴールに向けた道筋をつけることができる」

本時の学習 (5 / 60)

学 習 活 動	教 師 の 支 援
<p>1. 前時までの学びを振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に早く作りたい ・作り方を調べたい ・販売したい ・作り方をプロに教わりたい ・利益を出して寄付したい ・花を自分たちで育てたい ・お客さんに作り方を教えたい ・取り組みを発表したい 	<p>○前時に子どもたちが挙げた、「ゴールに向けてほしいこと」を確認する。</p>
<p>ゴールに向けて、何をどんな順番でしたらいいのかな？</p>	
<p>2. 班の中で自分の考えを表出する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず作ってみたい？ ・作り方を知らないと作れないから、まず調べよう。 ・押し花にする花も自分たちで育てたいから、先に育てる花を決めて種を植えたほうがいいんじゃない？ ・本当に作って販売することが可能なのかな？まずそれを調べた方がいいんじゃない？ ・どこかで詳しい人に作り方を教わりたいね。 ・発表したり販売したりするのは、最後の方だね。 ・寄付するなら、どこに寄付するかも決めなければいけないよね。 ・やるのがたくさんあるから、どういう順番で取り組めばいいのか、意外と難しいね。 <p>3. 各班で出された意見を全体の場で交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのグループの考えを比べると、「まず作ってみる」というのは共通しているね。 ・資料作りと販売の準備は並行して同時にやることになるかもしれないね。 ・うちの班とは考えが違うけど、1班の順番の方がいいかもしれない。 <p>4. ゴールに向けた道筋を自分たちで決定する (例) ①作り方を調べる ②作ってみる ③プロに教わる ④・・・</p> <p>5. 学習の振り返りをする</p>	<p>○問いの確認をする。</p> <p>○自分の考えの根拠を示しながら発言することを促す。</p> <p>○探究のサイクルやゴールイメージを意識できるように板書する。</p> <p>○ホワイトボードを活用して、班での話し合いが円滑に進むようにする。</p> <p>○時間内に考えが定まらなかった班に、なぜ悩んでいるのかを問いかける。</p> <div data-bbox="919 1066 1477 1245" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【思考・判断・表現】 総合のゴールに向けた道筋を自分なりに考え、伝えることができる。</p> </div> <p>○各班で出された意見の共通点や相違点に目を向けさせる</p> <p>○探究のサイクルに当てはめながら、順番を決定していく</p> <p>○あくまでも、現時点での計画であり、活動の様子やその時々思いによって、変更や追加が可能であることを伝える</p> <p>○次の探究活動への思いを書かせ、意欲を引き出す。</p>